

戸田歴史 さんぽ (6)

H25.夏号で“戸田小学校”の歴史を辿りましたが、今回は戸田地区にある当時の3つの分校跡を散歩してみましょう。(戸田小学校は他に湯野地区に3つの分校があった)

♪津木分校(現津木公民館跡地)

(変遷)～明治10年津木分校創設(最初の教師小川雲水)明治12年津木支校と改称、明治25年津木分教場と改称、昭和37年分教場廃校(福川小に編入される)～

昭和27年には給食も開始され戸田地区では在校生の数が一番の分教場であったが、校舎は火事に遭い消失。現在は津木公民館として建て替えられた。当時の資料は残っていないが、木製の黒板、授業開始・終了の際使用された鐘が保存されている。



♪四郎谷分校(現四郎谷公民館)

(変遷)～明治12年四郎谷支校創設、明治24年四郎谷分教場と改称、昭和17年廃校～

昭和32年校舎消失し、翌年湖南中学校(大島)校舎の解体資材により建設された。当時を偲ばせる舞台のある建物は風情がある。昭和16年分教場最後の修了生の1人である幡部雪江さんは当時の語り部としてマスコミの取材も受け、話を聞くと時間を忘れそう。



♪荅谷分校(現上荅谷自治会館)

(変遷)～明治14年荅谷支校創設、明治24年荅谷分教場と改称、昭和13年廃校～

現在地は地区の皆さんの管理によりきれいに整理され、跡地に立つと当時を思い出されるような感覚になる。



3つの分校跡は御影石の門柱しか残っていないが、それぞれ趣のある歴史を持ち散策されてはいかがでしょう。(むら 記)

※写真はいずれも昭和3年時のもの

義援金を届けました



熊本地震の義援金にご協力ありがとうございました。

自治会連合会に491,250円の義援金をお寄せいただきました。

義援金は日本赤十字社を通じて被災地に送られます。

善意銀行

荒田 一男 様

皆さんから温かい善意をお寄せ頂きありがとうございます。この善意は地域福祉の為に使わせていただきます。(地区社協)

夏の予定

7/17(日) 舟山神社祇園祭

神事は午後1時30分から。無料のかき氷、ビンゴ大会、餅まきの行事を予定しています。桜田八幡宮の広報に詳細を載せています。

7/31(日)西部3地区ラジオ体操



朝6時からソレーネ周南で開催。今年も木村市長の印が押してもらえるそうです！親子3世代で体操をして暑さを吹き飛ばしましょう！(詳細は自治会回覧をご覧ください。)

8/14(日)戸田納涼盆踊り大会

19時から戸田小学校にて開催。子ども盆踊り講習会を7/27(水)、8/3(水)、8/10(水)に行います。いずれも19時30分～20時30分まで戸田公民館大会議室です。ご参加お待ちしております。



8/16(日)戸田地区灯籠流し

19時30分より。7月25日(月)から8月10日(月)まで戸田支所にて灯籠をお配りしています。(詳細は別紙回覧をご覧ください。)

編集後記

今回は絵本を1冊紹介します。

「へいわってすてきだね」沖縄与那国島の安里有生君が朗読した詩が絵本になりました。

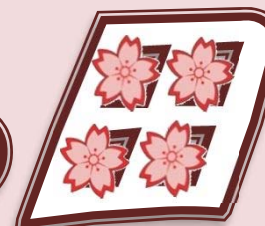


長谷川義史さんの絵は、日本最西端の島の自然や人々をのびやかに描き、小学1年生の男の子のまっすぐな願いが伝わってきます。手に取って声を出して読んでみてください。

夏休み、大人も自由研究するつもりで身のまわりをちょっと見直してみましょう。小さな発見があるかも…。(T 記)

戸田だより

さくら



<発行・編集>戸田公民館 コミュニティ推協 社会福祉協議会 編集委員会

地域情報誌
2016 夏号
7月15日発行
Vol. 32

七夕会でそうめん流し



桜田幼稚園

7月7日(木)の七夕の日、

桜田幼稚園では、7月生まれの誕生日会がありました。お友達をお祝いした後、『たなばた』のお話を聞き、みんなで「そうめん流し」をしました。大きな竹は、十軒屋の前田則之さんが毎年準備して下さいます。そうめんの他にも、トマトやみかんが流れてきて、子供たちは大喜びでした。

七夕の笹飾りを作り、短冊に願い事を書きました。みんなの願い事が、天に届きますように。

(桜田幼稚園長)



戸田のまちを探検



2年生

6月10日、20日、23日の3日間で、戸田のまち探検に出かけました。

第1回目は、戸田のまちをみんなで歩き、戸田にはどんな場所・どんな人が働いているかを見つけに行きました。

第2・3回目は、もっと調べたいところに分かれて探検に出かけました。子どもたちは知りたいことを積極的に聞いたり、見学したところをよく見て、新しい発見はないか見つけたりしていました。

どちらの探検も地域の方のおかげでとても充実した探検になりました。

おおきくなあれ ソレーネにアユを放流



5月2日、桜田幼稚園の園児が、ソレーネ周南親水護岸にてアユの稚魚を放流しました。このイベントは、西部3地区を流れる夜市川への放流を通じて、西部3地区で生まれ育った園児たちに、自然とのふれあいを楽しんでもらうために開催されました。

「おおきくなあれ」の掛け声とともに園児たちがバケツを傾け、一斉にアユが放たれました。園児たちは、元気いっぱい川を泳ぎ回るアユの稚魚を目で追いかけて声援を送っていました。

たくさんのアユが泳げるようなきれいな川になってほしいですね。

戸田小学校×戸田消防団



4年生

5月27日に、消防団の方をお招きして消防団体験を行いました。

質問タイムの後、体験コーナーで楽しみながらも、日頃できないことを学ぶことができました。

消防団の方の熱い思いにふれ、「カッコいい」「入りたい」という思いがわいたようです。

そこで一句！（子どもの作品）

- ・消防団 まちのヒーロー カッコいい （松林さん）
- ・すごかった ホースの重さ はく力も （中武くん）



3年生

6月7日、消防団の方に来ていただいて「子どもでは気づきにくい危険なところ（自然災害）」をテーマに戸田地域の地図に災害が予想されるエリアを色づけして重ねて見せていただきました。

また、大雨の後で戸田地域の中で増水したり崩れている箇所の写真を、地図で教えていただきました。子ども達も「安全マップ」がどういうものなのか、というイメージがつかめました。



戸田の人 インタビュー No. 6 村重 敏雄さん

みのりフェスタの金魚つりでお馴染みですので、ご存知の方も多いと思います。

20年前に郵便局を退職後、友人からカゴ作りを教えてもらったのをきっかけにモノづくりを始められたということです。左の写真は、割り箸を使って作られた岩国城です。撮った写真を参考にしながら製作されたそうですが、鬼瓦や可動式の窓も再現されていてとても立派です。

どの作品も材料をそろえるところからご自身でされ、一つ一つが手作りの作品です。ストローのエビ・ほたるかご、針金のトンボ、PPバンドのカゴ等、アイディアも独自で作りやすいように研究されています。金魚は危なくないようにと角を丸く切ったり、目が取れないように工夫されています。（いくつか戸田支所に飾ってありますのでご覧ください。）

荅谷育ちで、小さい頃は農作業の手伝いをしたり、ウサギを捕まえて遊んでいたからモノづくりが好きだったわけではないと言われますが、丁寧な細かい作業には器用さを感じます。また、病気知らずの健康な体の持ち主で、秘訣は特にないようですが、7時起床22時就寝とリズム正しい睡眠、好き嫌いのない食生活、手先を動かすことが効いているのでしょうか。

今年の“みのりフェスタ”にも出品されるということで、毎日製作されています。会場では一緒に作ることも出来ますし、「何かあれば作りますよ。」と言われていましたので、ぜひ皆さんもご参加ください。



～インタビュー当日にストローのエビを丁寧に教えていただきました。苦戦しながら出来上がった初作品はかわいいです。不格好ですが2匹3匹と作れるようになり楽しんでいます。ありがとうございました。

～R～

寿会泥落とし

7/6（水）寿会の泥落とし会に、約60名が参加しました。

保健師関谷さんによるお口の健康に関する講話、駐在所神徳さんによる交通安全の講話があり、笑いも交えて楽しく学びました。

しっかり学んだ後は、お弁当を食べながら交流をして、お楽しみのビンゴゲームをしました。お目当ての景品がとれなくても満足そうでした。



草刈りのご協力ありがとうございました。

6/25（土）西徳山総合グラウンド春の草刈りを開催しました。雨がちらつく中、ご協力ありがとうございました。9/24（土）には秋の草刈りを予定していますので、みんなでグラウンドをきれいにしましょう！

